



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

夏休みに入り、子どもたちが、家族や先生、友人以外と触れ合う機会も多いことでしょう。学校以外での経験は子どもの社会性(人が社会集団の一人として生きる能力)に大きな影響を与えていると言われています。この夏、祭りやいろいろなイベントが計画されています。多くの体験を通して、小林の子どもたちがさらに大きく成長することを願っています。

「学びの1週間」の案内を市内の児童生徒に配布しています。その中に「高校生寺子屋テナム」があります。これは、小林の高校生が小中学生の学びをサポートする企画。一緒に宿題をしたり、話をしたり…。きっと、勉強以外にも学べることがあることでしょう。

- ◆ 8月7日(水)～8月9日(金) 13:30～15:30
- ◆ TENAMU 交流スペース(TENAMUビル2階)

三松小・中 交流学習

小学1年生
中学3年生



中学生が、いろいろな道具を持って小学校を訪問。なぞなぞや読み聞かせ、折り紙などの屋内での活動と、だるまさんが転んだなどの外遊びを交替で行いました。2時間近くの間、歓声が絶えず、全員が笑顔で楽しんでいました。

昭和30・40年代は、異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ風景がいたるところで見られたものです。そういう機会が少なくなった今、両校の子どもたちにとって貴重な時間になりました。

須木小 浄水場見学

3・4年生



説明は奥平さん・八重尾さん(上下水道課)

近くの井戸から水を汲み上げ、配水池を経由して須木の中心部に水を供給する施設です。小林市の水道、水をきれいにする仕組、職員の仕事などについてお話していただきました。

子どもたちは熱心に説明を聞き、たくさん質問をして、その後、10分ほど歩いて、山の上の配水池に行きました。



【お礼の言葉】◆いろいろなことを教えていただき、ありがとうございました。
◆予想と違っていたこともあったけど、たくさん知ることができて良かったです。

小林小 二原遺跡の見学

6年生



発掘調査した16基のうち2基が保存され、公園として整備されています。3クラスが交替で訪れ、小林ガイドボランティア協会の皆さんに案内していただきました。

古墳時代の埋葬の話と鉄の剣や矢じり、熱帯産のイモガイの腕輪の写真に子どもたちは興味津々。熱心にメモを取り、約1,500年前の小林に暮らしていた人々の生活に思いを馳せていました。二原遺跡は、毎月第3日曜日(午前9:30～11:30)に公開されています。

永久津小 九州ゲンゼ工場見学

3年生



3年生6名の社会科見学です。説明は総務課の富永さん。工場の成立ちやストックングの作り方を学んだ後、製造工程に沿って工場内を見て回りました。子どもたちは、編んだり縫い合わせたり包装したりするさまざまな機械に、「すごい!」や「速い!」を連発。驚いたり感心したりしながら、説明を聞いていました。

【見学後の質問の時間より】◆ゲンゼでストックングを作っているのは小林の工場だけ。1日12万足作っています。◆働いているのは約300人。ベトナムやインドネシアの技能実習生もいます。◆機械の数は660台。その内、編立の機械が500台。柄が編める機械は毎年更新しています。◆染色にはたくさんのきれいな水が必要です。それで、水がきれいな小林に工場を作りました。

細野中 西諸みんなで人権について考える授業



人権擁護委員の皆さん6名が来校。メンバーの一人、椎原さん(写真右端)のお話を通して「自分らしさ」について考えました。

【主要内容】人権擁護委員の仕事・人権とは・自分らしさの「自分」とは・職業による「男女」のイメージ・無意識の先入観・自分らしさを守るために

お話の最後には、いろいろな品物を「男性用」と「女性用」のイメージで分けるワークショップもあり、子どもたちは、無意識に抱いている先入観についても考えました。

【椎原さんのお話より】自分と違うことを、「攻撃」や「排除」の理由にしないことが大切です。自分らしさを守るために、一度、今の環境から身を引いてもいいですね。それは逃げることではありません。

紙屋中 薬物乱用防止・情報モラル教室



講師は小林警察署刑事課・生活安全課の皆さん

全校生徒を対象に1時間で2つの教室を実施しました。主要内容は…

【前半】◆DVD視聴(薬物の恐怖)
◆薬物の種類 ◆検挙状況
◆身体への影響 ◆社会に与える影響

【後半】◆情報モラルとは ◆サイバー犯罪の現状
◆フィッシング詐欺被害について ◆SNSやネットとの付き合い方 ◆危険から身を守るために

「薬物もサイバー犯罪も遠い世界の話ではない」ことを、たくさんの画像やデータを用いてお話していただきました。子どもたちは、具体的な事例を交えた説明を聞きながら、終始真剣な表情で聞き入っていました。

南小 小林秀峰高校農業科の講話



農業科の3年生(園芸専攻草花研究班)5名が「四季の花壇づくり」をテーマに、花づくりの苦労や喜びを分かりやすく話してくれました。

【質問の答より】◆機械や電気など6つの学科があります。生徒数は600名◆親が農業をされていて、その姿にあこがれて農業科を選びました。◆(良いところ)それぞれ違った教科を学べる。部活が盛ん。仲が良い。◆17種類以上の花を育てています。◆小さな種を手作業でまくのが大変です。◆(農業科の)1年生は、畜産・園芸・食品。2年ではその内1つを専攻。3年ではさらに細かく分かれた分野を学びます。

栗須小 みどりの少年団結団式

4年生



最初に農業振興課の北方さんと真方さんから、森林の役割・木材の長所・宮崎県の林業についてお話を聞きました。その後は目標の発表。子どもたちは、多くの保護者が見守る中、「募金活動がんばる」「恥ずかしがらずに大きな声で呼びかける」「学校に花を増やしたい」「緑豊かな小林市にしたい」など、元気よく決意を述べました。

栗須小では、毎年、4年生が団員となり、花壇の手入れや森林体験、募金活動などを行っています。

野尻小 ボランティア集会



写真右から、棒踊り保存会・見守り隊・学習支援・読み聞かせの代表の方々です。お一人ずつ挨拶をしていただいた後、児童の代表が感謝の気持ちを伝えました。

【棒踊り】野尻小で棒踊りを始めて27年目です。伝統の継承をよろしくお願いします。

【見守り隊】元気なあいさつで私も元気になります。棒踊りの三味線も指導します。やってみたい人は声をかけてください。

【学習支援】宿題の丸つけで、皆さんの字がとてもきれいでびっくりしました。私も一緒に勉強させてもらっています。

【読み聞かせ】「たんぽぽ」のメンバー14人で活動しています。大好きな絵本を皆さんと楽しみたいと思います。

【児童代表】いつも私たちのためにありがとうございます。棒踊りを一生懸命頑張りますので、ご指導をよろしくお願いします。